

浜田川総合開発事業

第二浜田ダム

第二浜田ダム

浜田ダム再開発

浜田ダム再開発

島根県浜田河川総合開発事務所
島根県浜田県土整備事務所

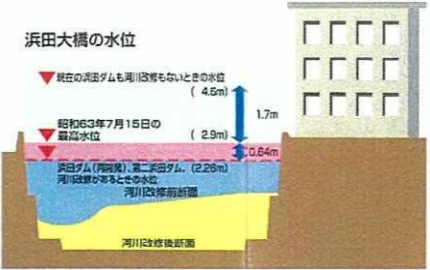
浜田川 総合開発事業 浜田ダム再開発 / 第二浜田ダム

ダムから流れる水 流量配分 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

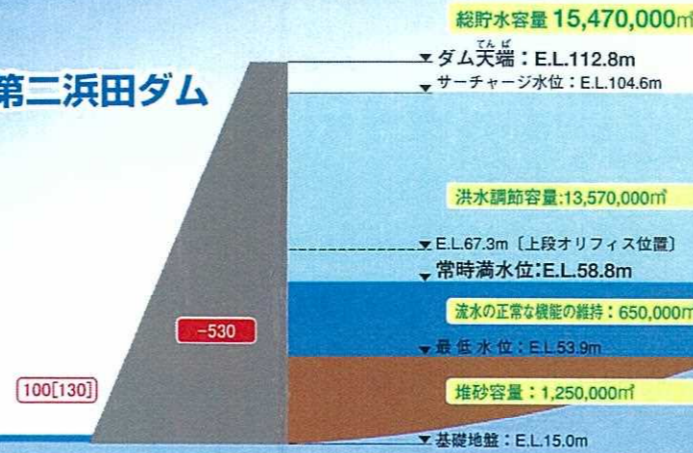
昭和38年3月	現在の浜田ダム完成。
昭和58年7月	梅雨前線による洪水により、大きな被害を受ける。
昭和59年度 平成元年度 (6年間)	予備調査。
昭和63年7月	梅雨前線による洪水により、大きな被害を受ける。
平成2年度 平成4年度 (3年間)	実施計画調査。
平成5年4月	建設事業に着手。
平成6年11月	地元協議会と基本協定を締結。
平成11年2月	損失補償基準協定を締結。

昭和63年7月豪雨での現在の浜田ダムと河川改修の効果

昭和63年7月には24時間で395mmという大雨に見舞われましたが、現在の浜田ダムと河川改修の効果によって洪水による被害を少なくすることができました。
もし、現在の浜田ダムがなく河川改修も行われていなかったら、浜田川の水が市内へあふれ、被害が一層大きくなったものと思われます。
第二浜田ダムができれば、水位はさらに低くなり、洪水による被害を大幅に少なくすることができます。



第二浜田ダム



浜田ダム (再開発)



ダムの目的

洪水調節

ダム地点の計画高水流量630m³/sのうち、530m³/sの洪水調節を行い浜田川沿川地域の被害を防止します。

流水の正常な機能の維持

ダム地点下流の浜田川沿川の既得用水の補給を行うなど、流水の正常な機能の維持と増進をはかります。

第二浜田ダム・浜田ダム再開発 貯水池平面図



ダムの目的

洪水調節方式の変更

ゲートを撤去して予備放流方式を自然調節方式に変更し、浜田ダム地点の計画高水流量690m³/sのうち300m³/sの洪水調節を行います。

河川名	浜田川水系(2級) 浜田川
型式	重力式コンクリート
流域面積	37.4km²
湛水面積	0.47km²
ダムの高さ	97.8m (鞍部ダム 27.8m)
ダムの長さ	218.0m (鞍部ダム 202.5m)
ダムの体積	324,000m³ (鞍部ダム 34,000m³)

放流設備	オリフィスによる自然調節
常用洪水吐	上:幅1.50m×高さ1.75m×1門 下:幅1.50m×高さ1.90m×1門
非常用洪水吐	クレスト自由越流 幅12.75m×高さ6.0m×2門
低水放流管	口径900mm 1条
洪水調節方法	自然調節

河川名	浜田川水系(2級) 浜田川
型式	重力式コンクリート
流域面積	33.8km²
湛水面積	0.25km²
ダムの高さ	58.0m
ダムの長さ	184.25m
ダムの体積	107,000m³

放流設備	オリフィスによる自然調節
常用洪水吐	幅2.3m×高さ1.4m×2門
非常用洪水吐	クレスト自由越流 幅12.0m×高さ11.6m×1門
洪水調節方法	自然調節

浜田川で、こんなことがあった!

浜田川はどんな川?

浜田川は、雲城山(高さ667m)から浜田市内をとおって日本海に流れ込む川です。浜田川のまわりには、住宅や田畑があり川の水を使って生活する人たちのくらしがあります。

洪水のまちで、大きな被害がでたんだね。

大雨

昭和58年、昭和63年にあった大雨で浜田川があふれ、浜田の町が水に浸かりました。

水不足

平成6年は雨が降らず、田畑に十分な水を運べなかったため、農作物が育ちませんでした。



ダムのはたらきを知らう

洪水を防ぐ

ダムに水をためるのは、洪水を防ぐためです。大雨が降ったときには、第二浜田ダムと浜田ダムの2つのダムで川の水を調節して、洪水を防ぎます。

2つのダムが完成すると、100年に1回の洪水でも溢れぬわいじゃ!

水を利用する

ダムに水をためるのは、雨が少ないときに必要な水を使うようにするためです。日照りが続いたときには、ダムにためた水を少しずつ川に流して、川の生き物や田畑の農作物を守ります。

第二浜田ダムが完成すると、10年に1回の水不足でも溢れぬわいじゃよ。



第二浜田ダムの大きさと形って...?

ダムの長さは約200mで、大型バスの約20台分の長さになります。

ダムにためる水の量は15,470,000m³で、学校の25mプール約41,000杯分になります。

ダムの形はいろいろあるわいじゃよ。
<重力式コンクリートダム>
第二浜田ダムはこの形です。水の流れをダムの上で受け止めて、下から流すようにしています。

あつこく、大きいわいじゃね。

ダムの高さは約100mで、石見海浜公園にあるほしータワー(44m)の約2.3倍の高さになります。

ダムに水がたまった時の水面の広さは470,000m²で、浜田市の運動公園(芝上競技場)の約20倍になります。

<アーチ式コンクリートダム>
氷の力をダムの両側の岩や壁の間に伝えて受けるダムで、高さが大変高く、上から見るとアーチ(円弧)の形をしています。
<フィルダム>
土や石をゆるやかに積み上げて作るダムで、橋から見たときの形をしています。フィルとは、土や石を積み上げることを意味します。

第二浜田ダムのしくみを知らう!



大雨をためる水の容量 13,570,000m³
川の生き物や田畑の農作物を守るための水の容量 650,000m³
100年分の貯をためる容量 1,250,000m³
ぜんぶたすと 計 15,470,000m³



- Q-1 第二浜田ダムを通過目的として正しいのはどれかな?
A: ダム湖で釣りをする。 B: 洪水を防ぐ。 C: 観光のため。
- Q-2 浜田市で大洪水があったのはいつだったかな?
A: 昭和43年 B: 昭和58年 C: 平成6年
- Q-3 第二浜田ダムの形は、なんだったかな?
A: フィルダム B: アーチ式コンクリートダム C: 重力式コンクリートダム
- Q-4 第二浜田ダムの高さは何メートルだったかな?
A: 約90m B: 約100m C: 約110m